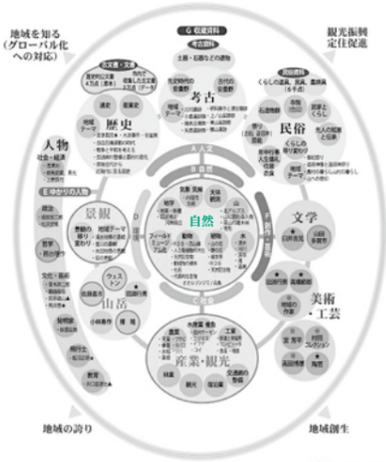


施設名	展覧会・イベント	日時・場所	費用・定員・申し込み
豊科郷土博物館 Tel.72-5672	ポタニカルアート展・写真展	5月31日(土)～6月22日(日) (最終日は16:00まで) 2階展示室	費入館料
貞享義民記念館 Tel.77-7550	下田忠壽写真展 花に集まる仲間たち	6月7日(土)～22日(日) 1階企画展示室	費無料
安曇野高橋節郎 記念美術館 Tel.81-3030	夏季ワークショップ 彩り木彫りアート 調千國由美さん(日展作家)	6月21日(土) 13:00～16:30 本館メディアフォーラム	費2,500円 定10人(先着順) 申5月27日(火)から電話で
明科子どもと大人の 交流学習施設 「ひまわり」 Tel.62-2001	HIMAWARIランドピアノ無料開放	6月29日(日) 10:30～16:30 ハーモニーホール	対ピアノ経験者 費無料 定5組(1組60分・先着順) 申5月29日(木)10:00から電話で (市内在住者は前日から先行受付)
白井吉見文学館 Tel.71-5123 Fax71-5127	白井吉見文学館れんげ忌講演会 父 石井立と筑摩書房 調石井耕さん(北海学園大学名誉教授)	7月11日(金) 14:00～15:30(開場13:30) 堀金公民館講堂	費無料 定100人(先着順) 申5月27日(火)から電話・ファクス・電子メールのいずれかで ☒bunshokan@city.azumino.nagano.jp
文書館 Tel.71-5123 Fax71-5127	講演会 自立のための合併を選んだ安曇野市 調細川博水さん (元安曇野地域任意合併協議会事務局長)	7月13日(日) 13:30～15:00(開場13:00) 堀金公民館講堂	

■休館日、開館時間などは各施設へお問合せください
 ■安曇野市美術館は8月29日まで長期休館中です ■豊科郷土博物館は5月27～29日の間、資料防虫作業のため臨時休館します

市誌編さん事業は「民俗編」「原始古代編」に続きいよいよ「自然編」に着手します。安曇野には常念岳、大天井岳に代表される高山と、そこから三川合流部下までの約2400mの標高差がある地形・地質が特徴です。高山から流れる水は谷を削って急峻な地形を作り、土砂が扇状地を形成しました。東にはフォッサマグナ(糸魚川静岡構造線)が走り、安曇野の一部が海だったことを示す化石も出ています。このダイナミックな地史と共に、多くの生物が生育・生息してきました。高山の稜線にしがみつくようにしてライチョウが暮らし、湧水にはスナヤツメなどの稀少な魚類がすんでいます。

一方、安曇野の自然を象徴するオオルリシジミはクララを唯一の食草としますが、クララは水田周辺に植えて殺虫剤代わりに利用した毒草で、人の暮らしがチョウを支えてきたと言えます。下図は安曇野市新市立博物館構想で示された「安曇野を



市誌編さん専門調査会 自然部会専門調査員 那須野雅好
 構成する主要要素」です。人の営みの全ての基盤に「自然」があることが分かります。
 市には合併以来、安曇野の自然を体系的にまとめた文献がない一方、昨今の気候変動による生態系への影響は大きくなっています。そのため、安曇野の自然環境を調べ、まとめる意義が高まっています。今後、このコラムでは自然編の専門調査員が安曇野の自然を紹介していきます。お楽しみに！

安曇野市誌自然編の編さんに着手します

第32回 コラム 市誌編さんだより

演目
舞囃子
新能
「犀龍小太郎」
作 青木道喜

「菊慈童」
片山九郎右衛門、宝生欣哉(人間国宝)
青木道喜

「龍田」
茂山七五三(人間国宝)、茂山千五郎
茂山逸平、浦田保親、青木真由人
地頭 青木道喜

第34回 信州安曇野新能

安曇野市制施行20周年記念

市制施行20周年を記念し、安曇野の民話をもとにした能「犀龍小太郎」を上演します。狂言大蔵流の茂山七五三師(人間国宝)、京観世の片山九郎右衛門師など信州安曇野新能ならではの役者陣が出演します。

8月23日(土)
17:30開演
(15:30開場)

場龍門淵公園多目的広場
雨天時:明科体育館
問信州安曇野新能実行委員会
(文化課内) Tel.71-2463

6月6日販売開始
チケット

一般前売	3,000円
一般当日	3,500円
大学生	1,000円
高校生以下	500円

販売場所など詳細は右記2次元コードから



ボランティアを募集しています

当日の来場客案内、チケットの確認など新能を支えるスタッフを募集します。

6月20日(金)までに文化課へ申込用紙を提出または電話で。申込用紙は同課または市HPから入手できます。



INTERVIEW



主宰・観世流能楽師 青木道喜さん

本年は市制施行20周年を記念して久しぶりに新能「犀龍小太郎」を上演いたします。「犀龍小太郎」は新能10周年を祝って安曇野に伝わる民話をもとに私が創った新能です。故郷の成り立ちが清冽な親子の愛と命がけの行動にあることが目の前に能として現れます。大人から子どもまで楽しめる渾身のエンターテインメント能です。ぜひご家族で足を運んでください。今年の夏は犀龍小太郎！